

第3回 勤務医に対する情報発信に関する作業部会

## 勤務医に対する「働き方改革」に関する情報発信

若い世代に向けた効果的な情報発信とは？

アンター株式会社  
中山 俊

# 医師の診療を助けるプラットフォーム

医師間で相談する、医師が医学情報を知って学ぶ、動画で学習するの3つのサービスを提供しています。

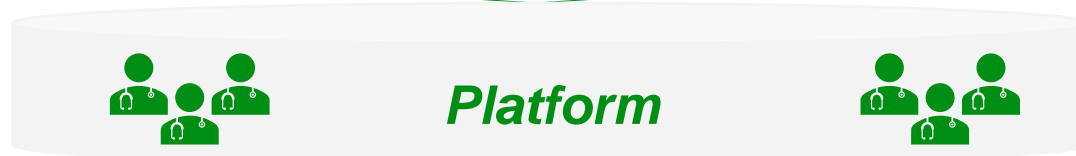
The composite image illustrates three services provided by the platform:

- Video Lecture:** A video titled "間質性肺水腫の画像所見" (Imaging findings of interstitial lung edema) from Antoa. It lists various imaging findings and their corresponding terms, such as Kerley B line, subpleural edema, and perihilar haze.
- Consultation Interface:** A screenshot of a consultation interface showing a CT scan image and a chat conversation. The chat includes a question from a user and two responses from radiologists (放射線科Dr① and 放射線科Dr②). A timeline at the bottom indicates the sequence of events: 12:28 (consultation), 12:30 (1st answer), 12:36 (2nd answer), 12:40 (reply from user), and 13:04 (contact from 2nd answerer).
- Video on MRI:** A video titled "頭部MRIを自信を持ってプレゼンする 7 Rules" (7 Rules for confidently presenting head MRI) by Daisuke Ya, Department of Neurology, Shonai. It features a slide with the text "CORONA VIRUS 2019-nCoV" and "検査の基本" (Basic of examination).

見る

相談する

知る



# 提供しているスライドサービスの特徴

医師が医師に向けてレクチャーを行なった資料がスライド形式で共有されています。

忙しい医師にとって講習会や勉強会に参加出来なくとも、サービスにアクセスすることで常にどこにいても学び情報を得る環境が提供されています。

## 1 専門医が非専門医に向けて



地域や時間帯によっては、医療機関に専門医がいない場合があります。非専門医であっても診療の質を高めるために、非専門医に向けたスライドを読み、学習しています。

## 2 学会やセミナーのスライド



セミナーや学会に当日参加できないことや、アーカイブ動画を見る時間が取れない場合があります。講演資料をもとに少しでも学び、また講演に参加した後理解を深めることができます。

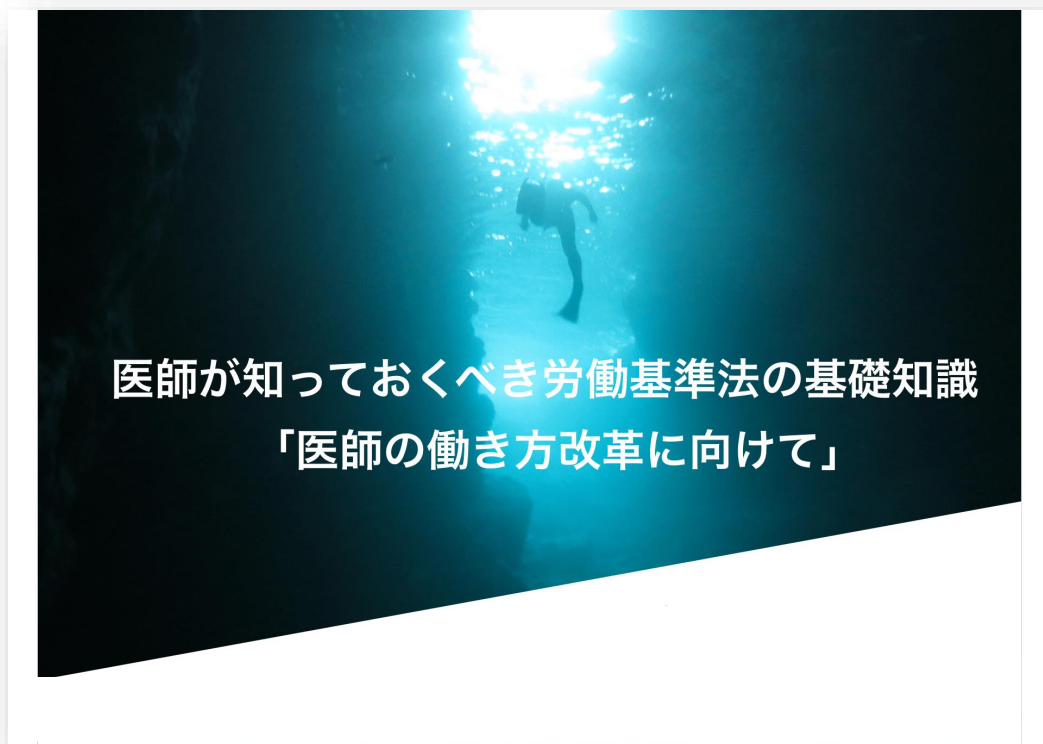
## 3 臨床に限らない医師に必要な内容



臨床に限らず、新しい診療方法のスライド、働き方改革のスライド、研究に関するスライドなどが共有され、日常診療の中では知り得なかった内容に出会う機会を提供しています。

## 人気のスライドの一例

スライドタイトル「医師が知っておくべき労働基準法の基礎知識 「医師の働き方改革に向けて」」



### 労働基準法とは

1947年に制定された労働者の保護法  
労働者として最低限守られるべき基準を規定  
労働者が同意したとしてもこの基準を下回ることは許されません

- 労働条件の明示
- 解雇予告
- 賃金支払いの4原則
- 労働時間の原則
- 休憩
- 休日

- 時間外及び休日の労働について
- 時間外、休日及び深夜労働の割増賃金
- 年次有給休暇
- 就業規則
- 制能規定の制限
- 周知義務

時間外を含めた労働時間について説明していきます

### 医師の働き方改革での争点

医師の応召義務	自分自身の健康を守る
自己研修を労働に含めるか	
時間外労働時間の上限規制	医師も意識改革が必要
研修医や地域医療勤務医の労働時間上限	
当直（宿日直）認定基準の変更	
オンコール待機を労働時間に含めるか	
アルバイトを労働時間に適用するか	
連続勤務時間制限	
勤務間インターバル制度	

- SNSでも多数のシェアがあり、一般的なスライドよりもシェア数が多い。
- 人気のスライドであり、若手の医師は働き方改革に興味関心がある。
- 興味関心があるものの、若手の医師がアクセスする先に働き方改革の情報が乏しかった可能性がある。

## 利用している医師の特徴

サービスを利用している医師の特徴は、大規模～中規模医療機関に勤務する勤務医かつ20代30代の若手医師層であり、特に勉強熱心で学習意欲が高い層が多く参加しています。

大規模～  
中規模  
医療機関

クリニック勤務の医師よりも  
大規模・中規模医療機関に勤務する医師が  
多く参加しています。

20代～30代  
若手医師  
が中心

20-30代の医師が  
全体の8割を占めています。

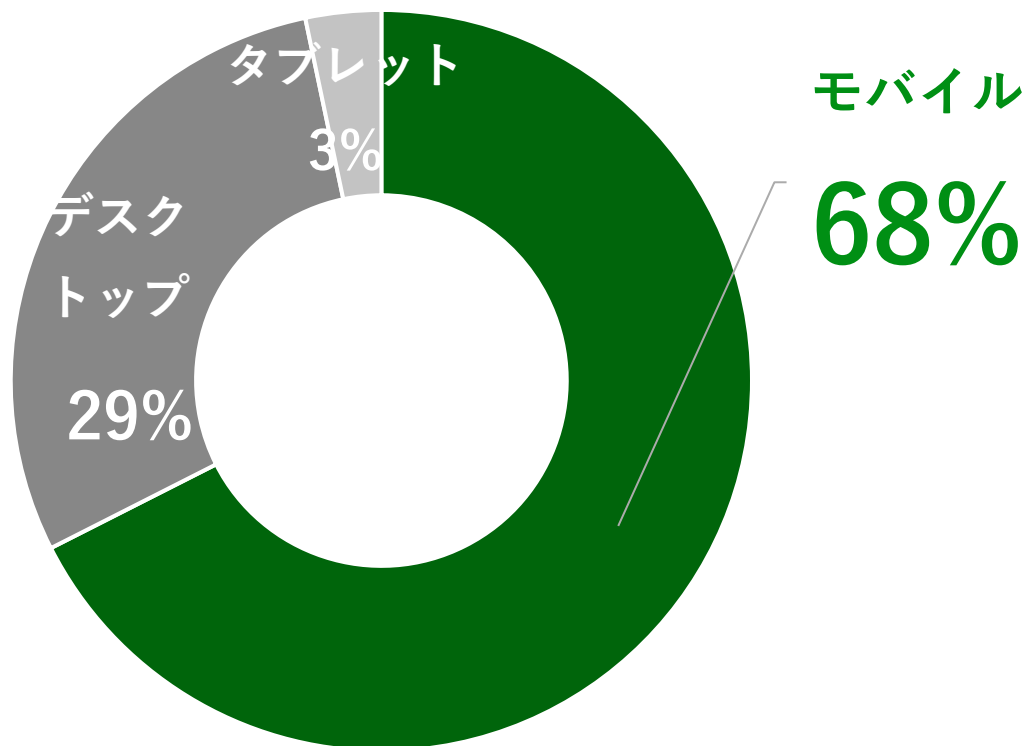
自己学習時間  
が長く  
学習意欲が  
高い

自費で外部研修に参加する医師や  
自己学習に費やす時間の多い医師が  
多数参加しています。

## 若手医師の情報アクセス媒体

アクセスはモバイル経由が約7割を占めています。

利用デバイス構成比

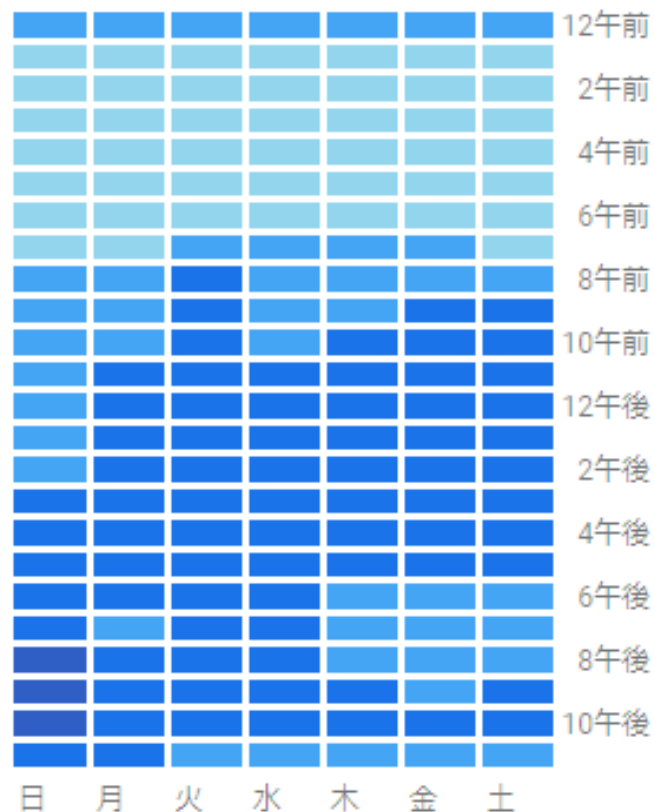


- 若手の医師はモバイル端末での情報アクセスを日常的に行っている。
- 若手の医師に向けて情報発信を行なう場合、PCでの利用を主眼においた情報発信よりも、モバイルでの利用をメインに考えて情報発信を行なう必要がある。

## 若手医師のアクセス時間帯

アクセスが多い時間として、平日日中、平日20時～24時前後、日曜夜間帯があげられます。

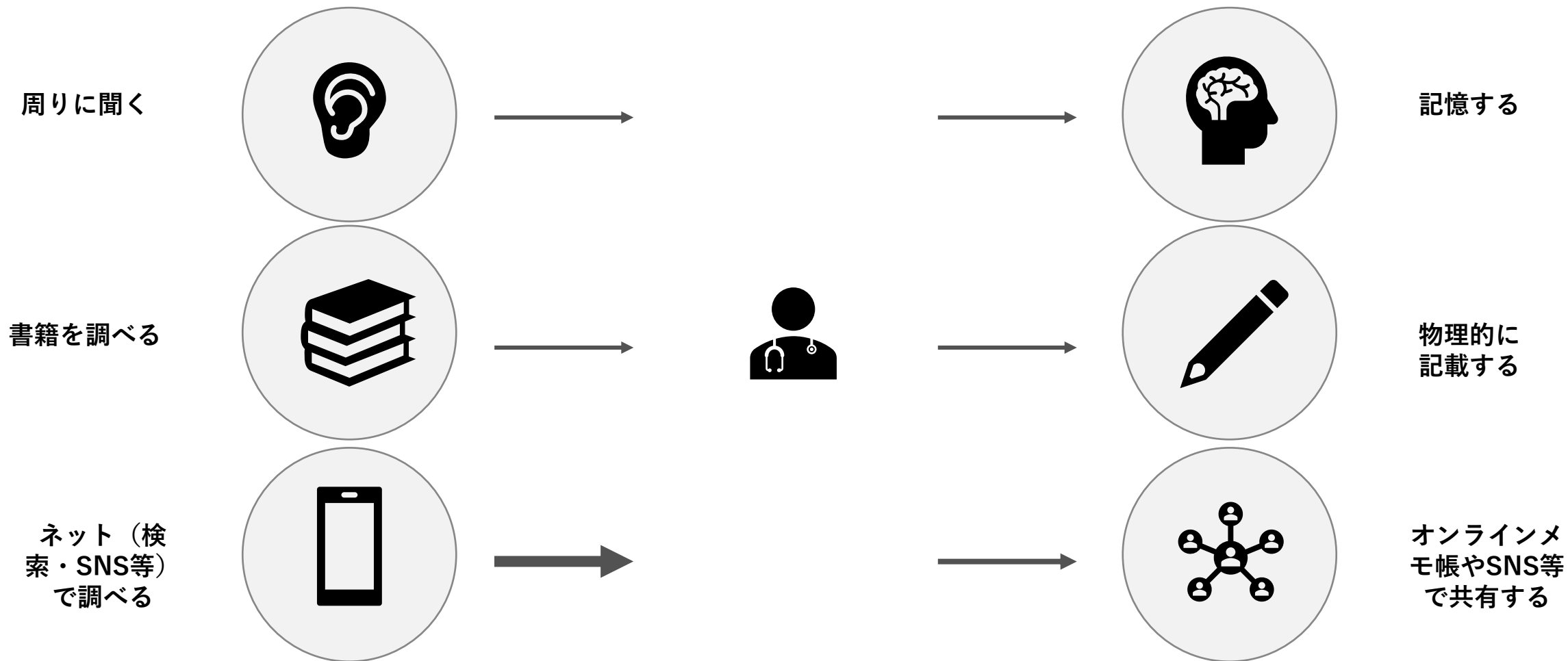
### 利用時間帯



- 日中の勤務時間帯や夜間の当直時などに多くアクセスされている。その際に診療に関わる情報だけでなく、臨床に限らない情報へのアクセスも多くなっている。
- 日曜の夜や平日は22時頃が、現在の若手医師にとって日常診療から離れ、情報を得るために最も余裕がある時間帯。
- 隙間時間で理解できると思うような情報粒度。
- クイズや設問を設けているスライドもあり、理解度を図るコンテンツも若手医師に興味関心を持たれる可能性がある。

## 若手医師の情報収集方法と情報アクセス後のフロー

代表的な情報収集方法として、人に聞く、書籍で調べる、ネット（検索・SNS等）で調べるが存在します。情報アクセス後の行動フローとして、記憶する、物理的に記載する、オンラインメモ帳に記載やSNS等で感想を共有するなどが存在します。周囲の人が知っている事前期待が高い情報については周りに聞き、事前期待が低い場合はネットで情報収集を行っています。





- 1 働き方改革への興味関心は、若手医師に一定ある
- 2 学習コンテンツとして提供する
- 3 モバイル端末での利用を前提とした情報発信
- 4 若手医師がアクセス可能な時間帯に情報提供する
- 5 情報に接した後に、発信したくなるコンテンツ

例：クイズやランキングなど